

令和元年 9月18日

愛媛県議会議長 西田 洋一 様

請願者 しまなみ海道の明るい未来を考える会
住所 今治市宮窪町宮窪6048-1
代表者 高取 隆宜



紹介議員 西岡 新

しまなみ海道沿線住民への橋の通行料金の負担軽減に関する請願

【請願の趣旨】

本年5月に開通20周年を迎えた瀬戸内しまなみ海道は、高速ネットワークの拡充により周辺地域への経済効果をはじめ、住民生活の利便性向上に大きな貢献を果たしてきました。

平成26年に初めて開催された「サイクリングしまなみ」は、国内外から注目を受け、アメリカのCNNでは世界7大サイクリングルートとして紹介されました。また、国が指定するナショナルサイクリングルートの候補に選定されるなど、日本を代表するサイクリストの聖地としてのしまなみ海道の知名度は愛媛県の観光施策における欠かせないコンテンツとなっております。

一方で、しまなみ海道沿線の島嶼部は、14年前の自治体合併から20%超える人口減少の地域が殆どであり、少子高齢化が著しく加速しております。その大きな要因は、しまなみ海道が唯一の生活道であるために橋の通行料金の生活費に占める割合が大きいため、住民がその負担に耐えられないのが実状です。

島嶼部である同地域の衰退は、公共交通の維持や観光産業の担い手の確保など、今後の愛媛県の観光振興に与える影響も大きく、早急に対応すべき課題であります。つきましては、次の事項について請願致します。

【請願事項】

愛媛県の重要な観光コンテンツである、しまなみ海道を中心とした地域振興のため、沿線の住民の定住を促進し人口減少に歯止めをかけることを目的として、特に、学生や通院する高齢者及び障害者などから段階的にでも、地元自治体がしまなみ海道の通行料金の負担軽減への施策に取り組む場合には、愛媛県としても何らかの支援をお願いします。

